

日経新聞を毎日読み続けるための4つのコツ

～ママFPのひとりごと⑩～

ファイナンシャルプランナー 鈴木さや子

私は毎日、日経新聞から、女性の皆さんに知っておいて欲しい記事をピックアップして、メールマガジンを介して紹介しています。読者様から「毎日どのように新聞を読んでいるんですか?」「とってはいるけれど、放置していてもったいないので、簡単に読めるコツを教えてください」といったご質問やご感想をよくいただきます。今回のコラムでは、日経新聞を毎日少しでも読み続けるためのコツを、お届けしたいと思います。

1. 毎日読み続けるための4つのコツ

コツその1：全部読む必要はありません

新聞に嫌気がさしている人は、全てのページを読もう、読まなくてはならない、と思っている人が多いです。新聞には新書2冊分に匹敵する文字数があると言われていています。それを全て読んでいたら、速読などの技術がない限り、毎日の生活に支障をきたしますよね。特に日経新聞は、経済・金融・ビジネスといった専門的な内容が多いため、全ての購読者に全ての情報が必要というわけではないのです。ほら、全部読まなくていいと思ったら、少しだけ気が楽になりませんか?

コツその2：生活に関わりのあるものを優先的に読もう

専業主婦であれば、毎日の食べ物の価格の動き、子を持つワーキングマザーであれば、保育園の待機児童問題が気になります。車によく乗る人であれば、ガソリンの価格の動きや交通事情、株を持っている人であれば、株価の動きを知りたいものです。また、自分や夫、親など身内の勤めている会社や、その業界で起こっていることは、把握したいでしょうし、東京に住んでいる人であれば、東京都内で起こっている事柄は知っておきたいもの。

日経新聞からは実にさまざまな情報が手に入ります。自分の生活に関わりのあるものを、毎日の新聞生活の中で上手に拾い上げて、インプットしていくことが大切です。

コツその3：キーワードだけ目で拾おう

新聞には「見出し」があります。毎日続けるためには、見出しに書いてあるキーワードを流し読みするのがポイント。毎日続けていくことで、世の中の動き・流れを把握することができます。

紙面によって、よく出てくるキーワードは異なります。紙面単位で、主語と述語だけ拾い読みしていきましょう。

【「主語」(何が・誰が)としてのキーワード】

<経済面>省庁名・政党名

<国際面>国名・海外企業名

<企業面>企業名

<投資・財務面・マーケット面>企業名

<消費面・新製品面>企業名・製品名

<教育面>学校名・自治体名

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

【「述語」(どうした)としてのキーワード】

「増」⇔「減」 ・ 「高い」⇔「低い」 ・ 「上昇」⇔「下降」
「発言」・「処分」・「参入」・「発売」・「安くなる」・「高くなる」・「変わる」 など

新聞の見出しは、助詞「が」「を」や語尾「となるだろう」「だった」「をする」などの言葉が省略されていることが殆ど。最初から省略されている言葉を読み取るのは難しいですが、目に留まった記事は見出しの隣の小見出しまで見ると、大方つかめるものです。そしてもっと知りたい場合は、本文を読むとなおよいですね。

見出しにしても、本文にしても、①「何が」「誰が」②「どうした」「何を言った」、という主語と述語を意識して読むだけで、すんなりと頭に入ってくるようになりますよ。

コツその4：興味をもった事柄は、頭のすみっこにメモしよう

読む中で、数日に一度くらいは興味を持つ事柄があるかと思います。たとえば、身近な話題で例をあげますと「知っトク！スカイツリー 食事の予約で展望台へ」や、「食用油原料、軒並み上昇」(2記事とも24年4月26日付日経新聞)など。知っておきたいこと、これからどうなるか気になることなどは、頭のすみっこにメモしておきましょう。新聞で扱う内容は、繰り返されることが多いのです。メモした事柄に関係することが、数日後、数か月後にまた登場する可能性も大いにあるんですね。

2. お気に入りのコーナーを見つけよう

日経新聞は、曜日によってさまざまなコーナーが組まれています。日経初心者の方に向いているのは、月曜日のキャリアアップ面と水曜日の「マネー&インベストメント」、土曜日の「ニュースクール」と「NIKKEIプラス1」。とてもわかりやすい文章で構成されているので初心者でも読みやすいです。また、週末の新聞は、1週間を振り返るとともに、翌週の出来事などをまとめていることが多いので、週末だけじっくり読むという方法も良いと思います。毎日読み続けることで、次第にお気に入りコーナーが見つかるでしょう。

私が初めて日経に触れたのは、就職活動をしていた21歳の頃。学生寮に住んでいたため、読まれない新聞が廊下に積まれていき、管理人に怒られる始末でした。でもコツさえわかれば、日経新聞は専業主婦だって楽しく読めるものなのです。来月は、日経新聞をWebで閲覧する場合のメリットやデメリット、5月14日から新しくなる日経朝刊の紙面について、実際に読んだ上でのポイントなどをお届けいたします。

《今月のお気に入り曲》
『幻想序曲』ロメオとジュリエット
／チャイコフスキー作曲
プロコフィエフ(23年10月コラムで紹介済)の同名曲とともにとても有名な1曲。ロメオとジュリエットの愛のメロディは、実に甘美。イングリッシュホルンが活躍します。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.